

2024年7月1日

## 触媒事業のエヌ・イー ケムキャット フロー合成に適用可能な水素化触媒「SPAIC シリーズ」に 新たなラインナップを追加し、試薬販売を開始

～1.0wt%以下の貴金属濃度で高い触媒活性を実現し、活性貴金属種も拡大～

エヌ・イー ケムキャット株式会社（本社：東京港区、代表取締役社長 遠藤晋）は、フロー合成反応にも適用可能な不均一系水素化触媒「SPAIC シリーズ」に、貴金属量を大幅に低減した開発品を追加し、試薬販売を開始いたしました。

水素化反応用の触媒である「SPAIC シリーズ」は、フロー合成反応における圧力損失を考慮した設計となっており、カラム型ベンチフロー反応装置での利用にも適した仕様となっています。本開発品は、貴金属担持量を 1.0wt%以下に低減しながら、高い活性を実現しました。さらに、活性貴金属種について、パラジウム(Pd)に加え、プラチナ(Pt)、ロジウム(Rh)を追加することで、水素化反応におけるお客様の多様なニーズに対応いたします。

尚、本開発品は、2024年7月4日（木）・5日（金）に長崎県長崎市で開催される「日本プロセス学会 2024 サマースンポジウム」の弊社ブースでも展示いたします。

今後は、フロー合成での連続製造を目指す各社企業との連携を強化しながら、本開発品の更なる展開を進めると同時に日本におけるフロー合成技術の発展と実用化に寄与してまいります。

### ～3つの特徴～

#### 特徴①：貴金属量低減

エヌ・イー ケムキャットでは、フロー合成用の水素化触媒として 5.0wt%の Pd/C 触媒の提供を行っていますが、本開発品は当社が保有する貴金属担持技術により、1.0wt%（Rh は 0.5wt%）の非常に少ない貴金属担持量で、高い活性を保持することが可能です。

（表1）開発品概要

項目	単位	詳細
活性貴金属種	-	Pt, Pd, Rh
貴金属濃度	wt%	Pt, Pd : 1.0wt% // Rh : 0.5wt%
担持体	-	カーボン
担持体サイズ(平均)	mm	0.3 ~ 1.0
水分率	%	2.0未満

#### 特徴②：フロー合成反応に適用可能な設計

本開発品は、フロー合成における圧力損失を考慮した仕様となっており、エヌ・イー ケムキャットが長年培ってきた、粉末および固定床触媒に関する知見と、精緻な貴金属担持技術によって担持体サイズ 0.3mm～1.0mm においても高い触媒活性を実現しています。

#### 特徴③：活性貴金属種を拡充

触媒の活性貴金属種として、パラジウム(Pd)に加え、プラチナ(Pt)やロジウム(Rh)をラインナップに追加し、種々の水素化反応に対応したソリューションを提案いたします。

#### ■画像：



■「日本プロセス化学会 2024 サマーシンポジウム」概要

会期:2024年7月4日(木) 10:00~18:00、7月5日(金) 10:00~17:00

当社企業展示場所：長崎ブリックホール3階会議室  
(〒852-8104 長崎市茂里町 2-38)

主催：日本プロセス化学会

入場料:無料（展示会のみ見学の場合）※シンポジウム・情報交換会への参加は有料

詳細は、主催者ホームページにてご確認ください。

<https://www.cdsympo.com/process2024/index.html>

■エヌ・イー ケムキャット株式会社について

エヌ・イー ケムキャット株式会社は、1964年に設立され、プロセス触媒・自動車排ガス浄化触媒（三元触媒・ディーゼル自動車触媒等）・燃料電池電極触媒等の開発・製造・販売と貴金属の回収・精製を行っています。

本社：〒105-5127 東京都港区浜松町2丁目4番1号 世界貿易センタービルディング南館 27階

沼津事業所：〒410-0314 静岡県沼津市一本松 678

つくば事業所：〒306-0608 茨城県坂東市幸神平 25番3号

■メディアからのお問い合わせ：

エヌ・イー ケムキャット株式会社

広報担当 E-mail:info-pr@ne-chemcat.co.jp

■本開発品に関するお問い合わせ：

[https://jljb.f.msgs.jp/webapp/form/23955\\_jljb\\_1/index.do](https://jljb.f.msgs.jp/webapp/form/23955_jljb_1/index.do)